

## 競 技 注 意 事 項

### 1 競技規則について

本大会は2020世界陸上競技連盟競技規則並びに2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2 練習について

(1) 【前日】11月2日(月)の練習は下表のとおりとする。

会 場	時 間	利 用 対 象 者
本競技場 (デンカビッグスワンスタジアム)	11:00～17:00	GP種目及びDenkaチャレンジ種目出場者
補助競技場 (デンカスワンフィールド)	使用不可	—
屋内練習場	11:00～17:00	GP種目及びDenkaチャレンジ種目出場者

(2) 11月3日(火・祝)の練習は下表のとおりとする。

会 場	時 間	利 用 対 象 者
本競技場 (デンカビッグスワンスタジアム)	使用不可	—
補助競技場 (デンカスワンフィールド)	7:30～16:00	GP種目及びDenkaチャレンジ種目出場者
屋内練習場	7:30～17:30	GP種目及びDenkaチャレンジ種目出場者

(3) 【共通】レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル	リレー
H/B:1・2		○		
H:3・4・5・6, B:3	○			
B:4・5・6				○
H/B:7・8			○	

H:ホームストレート B:バックストレート

(4) 【屋内練習場】レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル	砂場
1～3	○		—	使用不可
4・5		○	—	

天候により、屋内練習場にハードルを設置する場合がある。

### 3 招集について

(1) 招集所は、補助競技場連絡通路を通り、第4ゲート側に設ける。出場者は補助競技場から招集所へ移動して点呼を受けること。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、以下のとおりとする。詳細は、プログラム記載の競技日程及び招集時刻を参照すること。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド	競技開始45分前	競技開始35分前

(3) 招集の方法

- ① 競技者は招集開始時刻前に、招集所で待機し、係員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス、ユニフォーム、競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標について点検を受けること。
- ② 競技者は競技役員の指示に従って、入退場すること。
- ③ リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(TICに置いてある)に記入し、招集所に提出する。締切時刻は招集完了時刻の1時間前とする。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものと見なす。
- ⑤ 招集は必ず本人が行うこと。ただし、外国人競技者については通訳の同行を認める。

### 4 アスリートビブス(ビブス)について

(1) アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。

(2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、右腰のやや後方に取り付ける。

(3) 跳躍競技の競技者のアスリートビブスは背部または胸部のみでもよい。

## 5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」およびWAラベリング規程に従うこと。規程に抵触している場合は、是正を求めるので従うこと。

**特にユニフォームについては、国際ルールクラブロゴ規定に則るので注意すること。※GP種目に限る**

## 6 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはWAテクニカルルール第5条(競技規則第143条)の改訂ルールを適用する。 ※詳細は日本陸連HP参照:<https://www.iaaf.or.jp/news/article/13959/>

## 7 競技について

### (1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) リレー競走においてマーカースを使用する場合、除去についてはそのチームが必ず行うこと。

(4) フィールド競技の試技時間は、制限時間告知器で表示して、黄色旗で残り15秒を知らせる。

(5) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。

投てき用具の持ち込みを希望する者は、競技開始1時間前までにスタジアム正面玄関のTICにて検定を受けること。

持ち込みは2つまでとする。検定に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。

返却は競技役員の指示に従うこと。

(6) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

(7) 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則第144条」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。

(8) 欠場する場合は、欠場が決定した時点でただちに欠場届に必要な事項を記入し、新潟陸上競技協会にメールまたはFAXで届け出ること。

一般財団法人新潟陸上競技協会

【TEL】 025-257-7636

【E-mail】 nrkk@guitar.ocn.ne.jp 【FAX】 025-257-7691

## 8 走高跳のバーの上げ方について(天候等の状況により変更する場合もある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子	任意の高さ	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	2m18	以降2cm
女子	任意の高さ	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	以降2cm

## 9 ドーピングコントロール

(1) 世界陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則及び規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規定に基づいて行われる。なお、本大会の前もしくは後のドーピング検査では尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。なお、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

### (2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページを確認すること。

○日本陸連医事委員会 <https://www.iaaf.or.jp/about/resist/medical/>

○日本アンチ・ドーピング機構: <https://www.playtruejapan.org/>

### (3) 18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

・世界アンチ・ドーピング規定、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規定により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、新からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

・本競技会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。

○18歳未満競技者親権者同意書: <https://www.iaaf.or.jp/pdf/doi sho.pdf>

18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、同意書の原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出する提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において原本の提出がなくとも検査されるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

## 10 その他

(1) 更衣室は室内練習場へ向かう通路内に設ける。更衣室は更衣のみに使用し、貴重品は各自の責任で管理すること。

(2) 競技場内を移動する場合は、ADカードを必ず着用すること。

(3) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。

(4) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。

(5) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。

(6) 記録証明書を希望する競技者は、TICにある「記録証発行申請書」に必要な事項を記入し、500円を添えて申し込むこと。



日サトウ食品日本グランプリシリーズ 新潟大会  
**Denka ATHLETICS CHALLENGE CUP 2020**  
 WORLD ATHLETICS  
 Continental Tour **BRONZE**

新型コロナウイルス対策および撮影規制について

新型コロナウイルス感染症対策および写真撮影の規制について

本競技会は「陸上競技活動再開についてのガイダンス」ならびに「Denkaアスレチックスチャレンジカップ2020 新型コロナウイルス感染症対策および写真撮影規制について」に準拠し競技会運営を行います。

- 陸上競技活動再開についてのガイダンス：<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/>
- Denkaアスレチックスチャレンジカップ2020 新型コロナウイルス感染症対策および写真撮影規制について

- 1) 入場は無料とし、観戦者は原則大会出場者の関係者に限る（上限3,000名）。
- 2) AI体温検知システムを用いて来場者全員検温を実施する。
- 3) テレサ-体温記録活用アプリ-を用いて参加・来場者の事前体調チェックおよび身元情報の把握を行う。
- 4) 選手待機エリアと観戦エリアを設け、観戦者の選手待機エリアへの立ち入りを禁止する。
- 5) 撮影は身元情報の申請の上、許可制とし、主催者による撮影内容の確認があった場合は確認に応じることとする。

参加者および来場者の皆様は上記ガイダンス・指針へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。また、今後ガイダンスの更新に当たり、大会要項を変更する可能性がございます。予めご了承ください。

1 新型コロナウイルス対策について

- (1) 全ての来場者を対象にスタジアム正面でAI体温検知システムでの検温を実施する。
- (2) 当日検温で37.5℃以上、もしくは明らかな体調不良が認められる場合、参加を認めないことがある。
- (3) 来場にあたってはマスクを着用し、ウォーミングアップ中および試合中を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (4) 各所に備え付けのアルコールで下記に従って手指消毒をすること。  
 【トラック種目】スタート前およびフィニッシュ後    【投てき種目】投てき物を持つ前    【走高跳】毎試技前後
- (5) 休憩待機所、練習場・招集等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (6) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (7) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（一般財団法人新潟陸上競技協会）に報告すること。

2 写真・ビデオ撮影に関する規制について

以下の【規制撮影機器】を用いての写真・ビデオ撮影は許可制といたします。撮影を希望する場合は大会当日に正面コランス前の「撮影申請受付」にて身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード等）をご提示の上、「撮影許可シール」を貼取り、衣服の見えやすい位置にお貼りください。なお、主催者による撮影内容の確認要請があった場合は応じるようお願いいたします。

【規制撮影機器】

一眼レフカメラ、家庭用ビデオカメラ、望遠レンズを用いたスマートフォン・タブレット端末など